再生手続開始申立書
(給与所得者等再生用)

大阪地方裁判所 御中
申立人 陳述書記載のとおり

印紙

申立ての趣旨

- 1 申立人について、給与所得者等再生による再生手続を開始する。
- 2 給与所得者等再生を行うことが認められない場合には、小規模個人再生による再生手続の開始を求める（なお、通常の再生手続の開始は求めない。）。

申立ての理由

申立人は、添付の債権者一覧表に記載したとおりの債務を負担しているが、申立人の資産、収入の状況は、添付の陳述書等に記載したとおりであり、申立人には破産の原因たる事実の生ずるおそれがある。

再生計画案の作成方針についての意見等

債権者に対する債務について、相当部分の免除を受けた上、法律の要件を満たす額の金額を支払う方針である。

なお、民事再生法124条2項の財産目録及び125条1項の報告書としては、添付の財産目録等を援用することとする（ただし、開始決定までにこれらの記載内容に変動があった場合には、改めて提出する。）。

添付書類

添付の「添付書類一覧表」に記載のとおり

平成14年 4月 10日

申立人(代理人) 司法 太郎 印

TEL 03-1111-1111

FAX 03-1111-1112

送達場所 東京都千代田区千代田 1 - 1 - 1

陳述書

陳述者 氏名 司法 太郎 印

(申立人債務者) 別名 _____

年齢 満 62 歳 (生 昭和 40 年 1 月 1 日)

本籍

居所 (現在住んでいる所)

(〒20-0022)
足立区柳原 1 - 1 - 1

住所 (住民票又は外国人登録原票上の住所 - 居所と異なる場合にのみ記載)

(〒 -)
足立区柳原 1 - 1 - 1

貼用 印紙	円
予納 郵券	円
担当 社印	

該当する部分を で囲み， には≡印を付け，必要事項を記載してください。書く欄が不足した場合には，この陳述書と同じ大きさの用紙（A4判）に横書きで記入して，後ろに添付してください。各項目の必要資料については，添付書類一覧表に従って，その写しを添付してください。添付書類一覧表の該当項目番号は【添】等というかたちで指示してあります。

第1 職業，収入の額及び内容等

1 職業

現在の職業 会社員 その他（具体的に _____）

現在の職業に就いた時期 昭和・平成____年____月

地位・仕事の内容 _____

2 現在の収入

【添】

(1) 給与（月額手取り額） _____ 30 万 _____ 0 円

(2) 賞 与（手取り額） なし
あり（最近1年間に受け取った額及び時期）
 _____ 50万 _____ 0円 _____ 1月
 _____ 50万 _____ 0円 _____ 7月
 _____ 万 _____ 円 _____ 年____月

(3) 給与以外の公的給付（月額手取り額）_____ 万 _____ 円
 種 類 児童手当 児童扶養手当 公的年金
その他の公的給付（ _____ ）

(4) その他の給与以外の収入（月額手取り額）_____ 0 万 _____ 0 円
 具体的内容（ _____ ）

(5) 収入の合計金額 月額手取額（通常月）_____ 30 万 _____ 0 円
 年額手取額 _____ 460 万 _____ 0 円

3 過去の職業，収入等

(1) 過去3年間の職歴

年	月から	現	在まで	自営	勤め	アルバイト
				会社代表者		その他（ _____ ）
業種		職場名			月収（手取り）_____万円	
_____		_____			年収（手取り）_____万円	
年	月から	年	月まで	自営	勤め	アルバイト
				会社代表者		その他（ _____ ）
業種		職場名			月収（手取り）_____万円	
_____		_____			年収（手取り）_____万円	
年	月から	年	月まで	自営	勤め	アルバイト
				会社代表者		その他（ _____ ）
業種		職場名			月収（手取り）_____万円	
_____		_____			年収（手取り）_____万円	

(2) 過去2年度分の年収額

申立の前年度(1月1日～12月31日)の収入額 _____ 0円

申立の前々年度(1月1日～12月31日)の収入額 _____ 0円

申立の前年と前々年(いずれも1月1日から12月31日まで)の年収額(手取額)を源泉徴収票等に基づいて、ここに記載してください。転職等をした場合には、各年ごとに転職等の前後の収入額を合計して記載してください。

(3) 申立前2年間に、何らかの理由(就業先の変更など)により、月収の額が、それまでの額に比べて5分の1以上変動(例えば、それまで月収30万円であれば、6万円以上の月収額の増減)したこと

なし あり その具体的事情は次のとおりです。

第2 生活の状況

1 家族関係

氏名	続柄	年齢	同居・別居	職業	月収	【添】
(司法 花子)	(妻)	(35)	(同 別)	(パート)	(70,000円)	
(司法 一郎)	(子)	(12)	(同 別)	(小学生)	(0円)	
(司法 桃子)	(子)	(11)	(同 別)	(小学生)	(0円)	
()	()	()	()	()	(円)	
()	()	()	()	()	(円)	

別居している家族の住所()

2 現在の住居の状況

ア 自己所有の家屋 イ 借家・賃貸マンション・アパート ウ 社宅・寮
エ 公営、公団の賃貸住宅 オ 親族所有の家屋 カ 親族以外の所有家屋
キ その他()

現在の住居について家賃を払っている場合

(1) 1か月の家賃(管理費込み) _____ 0万 _____ 0円

(2) 賃借人の氏名 司法太郎

賃借人が申立人以外の場合 申立人との関係()

(3) 居住を開始した日 昭和・平成 _____ 年 _____ 月 _____ ころ

第3 負債等の状況

1 公租公課（税金など）、罰金等の滞納の状況

納付すべき税金，社会保険料，罰金（反則金），刑事訴訟費用，過料等の滞納をしている事実が ない ある

種 類	納付すべき金額	納 付 時 期
()	()	()
()	()	()
()	()	()

2 再生手続開始の申立てをするに至った事情

多額の借金（以下，特に断らない限り，ここでいう借金には，連帯保証による債務やクレジットカード利用による債務なども含みます。）をした理由は，次のとおりです。

次の中から，あてはまるもの（複数にあてはまる場合はそのすべて）を選んで記入してください。また，具体的な事情を，時間の流れに沿って3に記載してください。

- 生活費が足りなかったためです。
- 飲食，飲酒，旅行，趣味としての商品購入（絵画，パソコン，衣服，健康器具等），ギャンブル，風俗などにお金を使いすぎたためです。
- 事業（店）の経営に失敗したためです。
事業資金としてつぎ込んだ金額：合計 _____ 円
事業内容 _____
会社名 _____ 従業員数 _____ 人
事業（店）の経営に失敗した理由 _____

- 仕事上の接待費の立替払い，契約金の立替払い，営業の穴埋めなどによる借金が，支払えなくなったためです。
当時の職業 _____
仕事上の接待費の立替払い 契約金の立替払い 営業の穴埋め
その他 _____
立替等した金額 合計 _____ 円

- 住宅ローンが支払えなくなったためです。
当時の職業 _____
購入物件 土地 建物 マンション その他
購入時期 _____
購入金額 合計 _____ 円
月々の返済金額 月額 _____ 円 ポスト月 _____ 円

- 他人（会社）の債務を保証したためです。
主債務者 関 係 保 証 時 期 保 証 金 額
() () () ()
() () () ()
() () () ()

4 債権者との訴訟等の状況

- (1) 債権者との話し合い，調停手続等の利用をしたこと ある ない
弁護士に依頼して債権者と交渉（任意整理）してもらった。

_____簡易裁判所の調停手続を利用した。

昭・平 _____年 _____月ころ申立て

その結果，話し合いが成立した債権者の数 _____社（人）

話し合いのとおり支払をした期間

昭・平 _____年 _____月ころから昭・平 _____年 _____月ころまで

毎月の支払総額 _____万 _____円

支払の内訳（できるだけ具体的に記入してください。）

その他（ _____ ）

- (2) 支払督促，訴訟，差押，仮差押等 ある ない

1（ _____ ）裁判所 平成 _____年（ _____ ）第 _____号 相手方（ _____ ）

2（ _____ ）裁判所 平成 _____年（ _____ ）第 _____号 相手方（ _____ ）

3（ _____ ）裁判所 平成 _____年（ _____ ）第 _____号 相手方（ _____ ）

- (3) 給与の差押 ある ない

給与の差押を受けているのは，上記(2)のうち，_____（番号を記載）
で，月 _____円の差押を受けている。

- (4) 不動産の競売手続 ある ない

不動産の競売手続をされているのは，上記(2)のうち，_____（番号
を記載）で，競売開始決定は _____年 _____月 _____日に行われました。
競売をされているのは， _____自宅， _____その他 です。

- (5) 住宅ローンについて保証会社の代位弁済 ある ない

代位弁済は，（ _____ ）が， _____年 _____月 _____日に行いました。

第4 過去の免責等に関する状況

- 1 過去に破産免責手続を利用して免責の決定を受けたこと

ある ない

▷昭・平 _____年 _____月ころ，（ _____ ）地方裁判所（ _____ ）支部

- 2 過去に再生手続を利用したこと

ある ない

再生計画に定められた弁済を終了した。 【添 _____】

平 _____年 _____月ころ，（ _____ ）地方裁判所（ _____ ）支部

再生計画に定められた弁済の終了 平 _____年 _____月 _____日

再生計画による弁済を行っている途中で，弁済を続けるこ【添 _____】
とが極めて困難となり，免責の決定を受けた。

平 _____年 _____月ころ，（ _____ ）地方裁判所（ _____ ）支部